

平成 21 年 2 月 10 日

各 位

会社名 株式会社キムラタン
代表社名 取締役社長 浅川岳彦
(コード番号: 8107 大証第 1 部)
問合せ先 取締役 木村裕輔
(TEL 078-306-0801)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 12 月 25 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

1. 平成 21 年 3 月期通期予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純 利益
前回発表予想 (A)	5,100	△260	△370	△650	△ 1 円 24 銭
今回修正予想 (B)	5,000	△390	△500	△840	△ 1 円 61 銭
増減額 (B - A)	△100	△130	△130	△190	△ 0 円 37 銭
増減率 (%)	△2.0	—	—	—	—
(参考) 前期実績	6,368	△1,428	△1,569	△2,534	△ 6 円 41 銭

2. 修正の理由

業態別売上高の予想

(単位: 百万円、%)

	ショップ業態	卸業態	NET販売	百貨店その他
前回発表予想 (A)	3,280	1,348	250	170
今回修正予想 (B)	3,184	1,348	238	174
増減額 (B - A)	△96	—	△12	4
増減率 (%)	△2.9	—	△4.8	2.3
(参考) 前期実績	3,079	1,219	163	1,323

	アパレル合計	エレクトロニクス	全社合計
前回発表予想 (A)	5,048	52	5,100
今回修正予想 (B)	4,944	56	5,000
増減額 (B - A)	△104	4	△100
増減率 (%)	△2.1	7.7	△2.0
(参考) 前期実績	5,785	582	6,368

今後のわが国経済は、米国の金融危機に端を発する世界経済の低迷により、企業収益はさらに厳しさを増すものと思われます。個人消費につきましても、先行きの不透明感から消費マインドは一層の冷え込みを呈することが予想され、アパレル市場におきましても、引き続き厳しい環境で推移するものと見込んで

おります。

そのような市場環境下、ショップ業態につきましては、第3四半期に引き続き、店舗運営力の強化や、新生児ブランド「愛情設計」における生産体制シフトによる供給体制の強化に努めておりますが、足下の状況は厳しい推移を示しており、通期の売上高は前回予想を約3%下回る見通しであります。

卸業態につきましては、大手小売業全般で衣料品販売の不振が一層深刻化する状況にありますが、当第4四半期に納品予定の春・夏物の受注は確定しており、通期の売上高は前回予想とおりとなる見通しであります。

NET販売につきましては、ショップ業態と同様に個人消費の冷え込みの影響が強く、通期の売上高は前回予想を約5%下回る見通しであります。

以上の通り、通期の売上高は50億円（前年同期比21.5%減）となる見通しであります。

なお、当社は、大幅な収益改善を図るため、平成20年2月21日に公表の中期経営計画に記載のとおり、前事業年度において百貨店事業からの全面撤退を決定し、また、平成20年4月25日に公表のとおり、平成20年5月を目途としてエレクトロニクス事業からの全面撤退を決定し、当第2四半期末までにこれらの撤退を完了いたしました。両事業の前期売上高は約19億円であるため、当事業年度の通期売上高は前年同期と比較して大幅な減少（21.5%減）となる見通しであります。

売上総利益につきましては、店頭販売状況が厳しい中、予定より値下げロスが増大することが見込まれ、前回予想を6.2%下回る22億70百万円（前年同期比3.2%減）となる見通しであります。

販売費及び一般管理費につきましては、26億60百万円（前年同期比29.6%減）となる見通しであります。

したがって、通期営業損失は3億90百万円（前年同期比72.7%減）となり、経常損失は5億円となる見通しであります。

当期純損失につきましては、当第4四半期における一部のインショップの閉鎖に伴う損失等を織り込み、8億40百万円となる見通しであります。

なお、平成20年12月22日に公表いたしました「資金の借入れ及び社債の償還期日延長に関するお知らせ」の4ページ、ならびに、平成21年2月3日に公表いたしました「第三者割当による第5回乃至第7回新株予約権発行に関するお知らせ」の3ページに記載の、向こう1年間（平成21年1月から平成21年12月）の資金繰り計画につきましては、前回発表の業績予想に基づき作成したものであり、今回の業績予想の修正に伴い変動が生じる見込みです。今回の修正業績予想に基づいた資金繰り計画につきましては、別途開示させていただきます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により当該予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上